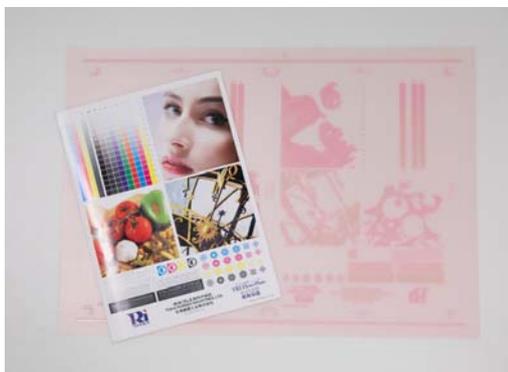
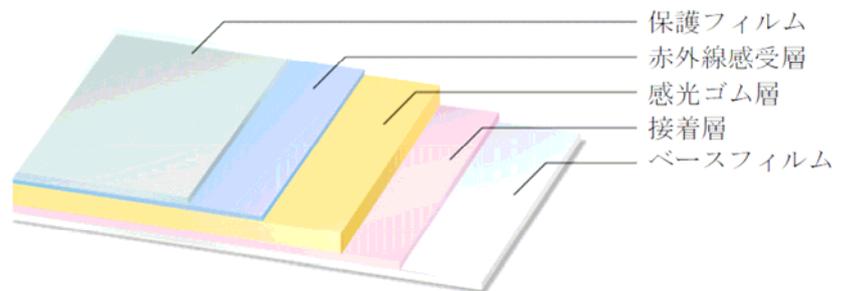


## 東海ゴム、フレキシソ事業に本格参入 ～高画質で環境にやさしい水現像版「AquaGreen」を展開～

東海ゴム工業株式会社（本社：愛知県小牧市、代表取締役社長：西村義明）は、柔軟な感光性ゴムを使った凸版印刷（フレキシソ印刷）向け版材について、高精細な画質を実現する製品の開発に成功し、国内で本格的に市場展開を始めることといたしましたので、お知らせいたします。製版工程で溶剤の代わりに水を使うことで環境負荷を低減できる製法を独自に開発し、「AquaGreen」（アクアグリーン）のブランド名で本格的に市場参入します。



感光性水現像フレキシソ版「AquaGreen」と印刷物



「AquaGreen」の構造

フレキシソ印刷は、食品パッケージをはじめとする軟包装向けに活用されています。印刷に使う版材（フレキシソ版）を製造する過程で、環境負荷が高い有機溶剤を使った手法（溶剤現像版）が主流であり、環境配慮の観点から、こうした溶剤を使わない手法（水現像版）が求められていました。

当社は、創業より強みとしてきた高分子配合・加工技術を活用して、溶剤を使わなくてもクリアな画質で現像できる感光性ゴム材料の開発に成功しました。この材料を活用することにより、高精細画像の印刷が可能な水現像版の製品化を実現しました。

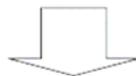
当社は今後、「AquaGreen」ブランドでフレキシソ版の国内展開を本格化させるとともに、製版システムを含めた環境ソリューション事業への参入も視野に入れてまいります。こうした取り組みの結果として、フレキシソ事業の2015年度売上高を40億円とする目標を掲げています。

### ＜「AquaGreen」のブランド名の由来＞

Aqua: **水現像**

+

Green: 環境[地球]に優しい、環境問題意識が高い**グリーン印刷**



**AquaGreen** (アクアグリーン)

環境にやさしい水現像フレキシソ版

## <「AquaGreen」の特長>

### ① 溶剤フリーで短時間製版が可能

界面活性剤を1%程度添加した40～50℃の水道水で製版できます。現像から仕上げまでに要する時間が、従来の溶剤現像タイプと比べて4分の1の40分程度で済みます。強い臭気など作業環境の改善や廃液処理が不要になるなどの利点もあります。既存の製版機の場合でも、現像ブラシを交換するだけで、「AquaGreen」に切り替えることができます。



水をかけながらブラシで版を仕上げている



仕上げが終わり現像の完成した版

### ② シャープな画像を実現

フレキシソ版の表面は、無数の山型網点で構成されています。「AquaGreen」は、この網点の頂点（先端部分）が平らになっており（Flat-Top-Dot）、安定して高精細な画像を得られます。これが高精細な画像を生み出すポイントで、デザイン通りの画質を忠実に再現します。

## AquaGreen 高画質再現性



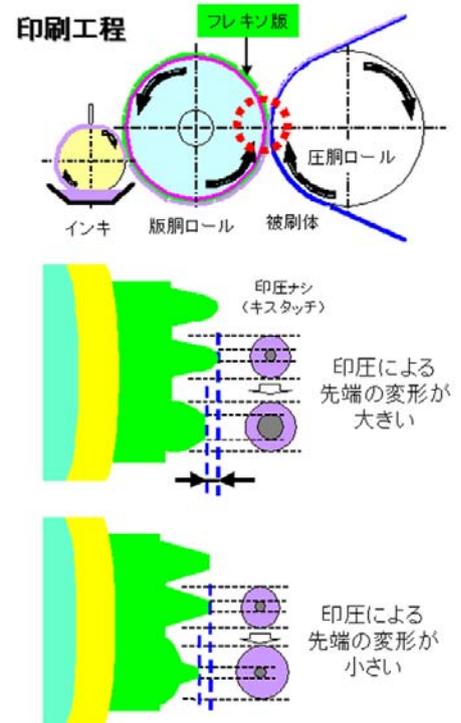
**従来のフレキシソ版**  
網点形状の先端部が丸い  
**Round-Top-Dot**  
→ 印刷画質のバラツキ

網点形状の拡大写真



**AquaGreen**  
網点形状の先端部が平ら  
**Flat-Top-Dot**  
→ 印刷画質が安定

網点形状の拡大写真



以上